

(別紙3)

## 卒業論文の判定基準と卒業研究の単位認定

環境社会計画専攻（環境政策・計画学科）

### 1. 評価項目と評価方法

卒業論文の判定に係る評価項目は次のとおり。

	評価項目
①	研究の目的が明確で、研究としての新規性（オリジナリティ）はあるか（先行研究の十分なレビューを含む）
②	論文（目的から調査分析、結論までの流れ）の論理展開が明快で、不整合や飛躍はないか
③	研究の目的達成のために十分な調査がなされているか
④	調査結果の分析と調査分析結果の考察が十分になされているか
⑤	結論が社会的あるいは学術的に意義のある（有用な）知見を含んでいるか
⑥	論文が、わかりやすく、誤字脱字がなく、指定された書式に従って書かれているか
⑦	発表会において、制限時間内にわかりやすく発表し、質問にも的確に答えられたか
⑧	卒業研究にまじめに取り組んだか（指導教員との十分な協議を含む）。

評価は、それぞれの評価項目について優「◎」、良「○」、可「△」、不可「×」で行う。

### 2. 判定

上記評価項目毎の評価を総合的に勘案し、査読教員と指導教員を中心とする専攻（学科）教員全員の合議によって次のようにSからEの判定を行う。

判定	100点換算
(S判定) 最優秀論文	90点以上
(A判定) 優秀論文	80点以上 90点未満
(B判定) 佳作論文	70点以上 80点未満
(C判定) 要修正論文	60点以上 70点未満
(D判定) 再査読論文	40点以上 60点未満
(E判定) 再提出論文	40点未満

なお提出が指定時間から1秒でも遅れた論文に関しては、判定を1段階下げる。また、1時間以上遅れた論文に関しては自動的に「E判定」とする。

### 3. 判定後の流れ

判定後の流れは次のようになる。

#### 【判定後の流れ】

<b>☆S 判定論文</b>
判定が「S 判定」のものは、査読教員の修正指示に従い、修正を加え、保存版論文を提出する。
<b>☆A から C 判定論文</b>
判定が「A 判定」「B 判定」「C 判定」のものは、査読教員の修正指示に従い、必要な修正を加え、指導教員の承認が得られれば、保存版論文を提出することができる。
<b>☆D 判定論文</b>
判定が「D 判定」のものは、再査読を受けなければならない。査読教員の修正指示に従い、十分な修正を加えた論文を指定された期日に査読教員に提出し、再査読を受ける。再査読の結果、C 判定以上の評価を受けたものは、必要な修正を加え、査読教員と指導教員の承認が得られれば、保存版論文を提出することができる。
<b>☆E 判定論文</b>
判定が「E 判定」のものは、自動的に通常の卒業日には卒業はできない。ただし、卒論の再提出と発表、合否判定の機会がもう一度与えられる。これで C 判定以上の評価を受け、必要な修正を加え、査読教員と指導教員の承認が得られ、定められた期日までに保存版論文を提出できれば、3 月末日に卒業できる可能性は残される。

#### 【卒業研究の単位認定】

卒業研究の成績（単位）は、保存版論文の提出をもって「合」（認定）とする。上記の卒業論文の判定は卒業研究の単位認定ではない。判定結果に関わらず、保存版論文が提出されるまでは卒業研究の単位は保留となっているので注意する。

#### 【保存版論文提出期限】

D 判定以上の評価を受けた学生で、論文に必要な修正を加え、査読教員と指導教員から承認が得られた保存版論文の提出は **2 月 23 日（火）** とする。ただし、これは卒業式に製本が間に合うための提出期限であって、例年、2 月中に保存版論文を提出できたものについては単位が認められ、通常の卒業日に卒業できる。なお、卒業に当たっては、卒業研究以外の卒業単位条件も満たされていなければならないことは言うまでもない。

2 月中に保存版論文を提出できなくとも、3 月の第 2 週までに提出できれば、通常の卒業日には卒業できないが、3 月末日に卒業できる可能性は残される。

#### 【卒業論文の製本について】

上記の 2 月 23 日に保存版論文を提出できたものは、卒業式の日製本した卒論を受け取ることができる。なお、上記に間に合わなかった論文も、最終的には製本され、4 月以降に郵送で手元に届くことになる。